

## 鶏舎屋根にソーラーパネル 電力問題解消へ大きな一歩

当社(株式会社ホソヤ)はこのほど静岡県菊川市の自社農場の鶏舎に薄型・超軽量の太陽光パネルを導入しました。総設置枚数は848枚。年間発電量は46万3000kw時になる予定で、農場運営に必要な電力の22%をカバーできる規模です。

ここ数年の電気代高騰は厳しいものがあり、現場で様々な工夫を施して節電していますが限界が近づいています。3年前にはGPセンターに太陽光発電を導入したのですが、鶏舎は耐震性の問題からあきらめていました。

そうした中、2025年夏の鶏鳴新聞で目にしたのがHESTA大倉の「HESTAソーラー」でした。

従来のガラス製パネルに比べて最大8割軽い。鶏舎でも設置できるのでは、と思い立ち、すぐに耐荷重計算を依頼したところ十分設置できるとわかり、導入を決めました。

12年の製品保証があり、発電状況を遠隔管理して問題が起きれば対応してくれる安心感もあります。

しなやかに曲がるので耐衝撃性なども不安がありません。

採卵養鶏施設では大型換気扇や送風機のほか、発酵機など大量の電気を要する設備が数多く存在します。

しかも24時間稼働ですので電気代高騰は経営に大きな影響を与えています。今回は当社にとって大型の投資となりますが、順調に発電すれば6年で資金回収できるとみています。コストだけでなく昨夏のような猛暑や災害で電力がひっ迫するリスクもあります。

養鶏業界にとって鶏舎の屋根で太陽光発電ができるのは大きな一歩なのです。

健康で美味しい卵を供給し続けたい養鶏業界にとって電力問題は共通の悩みです。当社の導入状況を共有し、業界の発展に貢献していきたいと思います。



株式会社ホソヤ 細谷 泰社長



集卵部 角皆和也副所長(左)  
生産部 梅田大輔農場長(右)



ホソヤ菊川農場

徹底した  
品質管理と  
製品検査で  
25年保証  
※出力保証

当社イメージキャラクター  
新庄 剛志  
(しんじょう つよし)

# 停電・耐震性・電気代 3つの備え してる?

家や家族を守る  
HESTAソーラー

## 太陽光発電の設置義務化に対応!

東京都は2025年4月から新築住宅等への太陽光発電設備の設置、断熱・省エネ性能の確保等を義務付ける制度を創設しました。

**東京都義務化・補助金2倍!\***(機能性PV認定)

※地域および建物によって異なります。詳しくは担当者にお問合せください。

HESTAソーラーは優れた機能性を有する太陽光発電システムとしてクール・ネット東京の機能性PVの認定を受けました。 ※ 指定の屋根材・施工で8万円/kWが補助金に上乗せされます。

